

2004年11月29日

発行
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・川上 憲太
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

大崎先行も順位争いはますます激化

~第29回日本ハンドボールリーグ第9週~

第29回日本ハンドボールリーグ第9週は宮崎などで男子3試合、女子1試合が行われ、男子では大崎電気がアラコ九州の追撃を振り切って単独トップを守ったのに対し、2位の大同特殊鋼が湧永製薬と18-18と引き分け、前週3位に浮上したトヨタ車体はホンダ熊本に25-28で苦杯をなめるなど、いぜん混戦が続いている。女子は広島メイプルレッズが30-20と北国銀行に全くつけ入るスキを与えぬ試合運びで女王の貴祿を示した。

男子3試合のうち、大崎電気は前半12-10と2点リードで迎えた後半立ち上がり、2本のポストシュートで14-10と主導権を握ると、その後は大崎・石原、アラコ・吉田のファインセーブの応酬で試合が盛り上がった。アラコ九州は9分過ぎから大崎電気2人の退場で得たパワープレーのチャンスに田中らの連打で17-17の同点。中盤以降は両チームに退場が相次ぎ、やや荒れた展開となつたが、豊田のサイドで21分25-21とした大崎電気が、逆速攻で必死に食い下がるアラコ九州の追撃をかわして28-26で逃げ切った。

大崎電気を追う大同特殊鋼は湧永製薬と大接戦を展開。後半残り5分を切り16-17と1点ビハインドの場面から、大田の退場でピンチを迎えた大同特殊鋼だったが、湧永・小沢が7mTをはずしたあとに山本の速攻が決まって同点。残り45秒、浜本のサイドシュートで湧永製薬が再び1点先行して勝負が決まつたかに見えたが、残り20秒、大同特殊鋼は白元皓が起死回生のドリブルカットから7mTを誘い、これを金性憲が決めて引き分けに持ち込んだ。両GKを中心とした堅守の目立ったゲームだった。

ホンダ熊本・トヨタ車体は、一進一退が続いた前半終盤にポストとサイドで加点したホンダ熊本が13-11として前半終了。ホンダ熊本は後半に入ても上田の活躍で10分19-13と水をあけ、その後も譚崇聖と松本を軸とした多彩な攻撃でがっちりと優位をキープした。トヨタ車体はGK田平の好セーブで流れをつかみかけたが、パワープレーのチャンスを自らのミスでつぶすなどして得点ペースが上がらず、最後はオールマンツーを試みるものホンダ熊本の巧みなゲーム運びにかわされ、結局28-25と3点差でホンダ熊本が勝利を握った。

女子の広島メイプルレッズ・北国銀行は、開始早々、金鎮順の7mTで先取点を奪った広島メイプルレッズが、その後も金のミドル、石山のポストでたたみかけて好ダッシュ。北国銀行もエース中村のミドル、ポストで反撃を試みるも、高く攻撃的な相手DFを崩すことができずに苦戦が続いた。一方の広島メイプルレッズは大前、青戸の速攻などで着実に得点を奪い、司令塔の呉成玉を密着マークされながらも15分過ぎには金のミドルなどで9連取をマークして19-8で前半を終了。北国銀行は後半に入って上町のミドルが立て続けに決まり、GK田中も好守を見せたが、前半の大量リードに守られた広島メイプルレッズが余裕の戦いで6勝目をGETした。

次週は愛知などで男子3試合、女子1試合が組まれており、トヨタ車体が大崎電気に挑戦するほか、大同特殊鋼・ホンダ、湧永製薬・アラコ九州と、いずれも力の接近したクロスゲームが予想される。女子は広島メイプルレッズと首位争いを演じるオムロンが北国銀行と対戦、この試合を乗り切って女王とのマッチレースに持ち込みたい。

第10週の日程

[1 部]

12月4日(土) 愛知・中村スポーツセンター(地下鉄東山線中村日赤駅徒歩5分) ・刈谷市体育館 東海道本線逢妻駅徒歩10分)	13:00 ~ (男) 大同特殊鋼 × ホンダ
福岡・福岡市民体育館(地下鉄貝塚線千代県庁口駅徒歩2分)	15:00 ~ (男) トヨタ車体 × 大崎電気
	14:00 ~ (女) 北国銀行 × オムロン
	16:00 ~ (男) 湧永製薬 × アラコ九州

[2 部]

12月4日(土) 福井・北陸電力福井体育馆フレア 兵庫・大阪ガス今津総合グランド	14:00 ~ 北陸電力 × HC東京 15:00 ~ 大阪ガス × トヨタ自動車
---------------------------------------------	----------------------------------------------



女王の底力を発揮して快進撃を続ける広島メイプルレッズ・金

11月27日(土) 女子1部 石川・金沢市総合体育館	11月27日(土) 男子1部 富崎・宮崎市総合体育館	11月28日(日) 男子1部 佐賀・神埼中央公園体育館	11月28日(日) 男子1部 熊本・熊本県立天草工業高校体育館			
広島メイプル レッグス 30 (19 - 8) 6勝0分1敗	湧永製薬 18 (10 - 9) 4勝2分5敗	大同特殊鋼 18 (8 - 9) 6勝2分3敗	ホンダ熊本 28 (13 - 11) 4勝0分8敗			
K 高 森 2/ 4 土 屋 0/ 1 樹 山 4/ 8 青 戸 7/ 7 大 前 1/ 1 河 本 0/ 2 菅 野 0/ 1 坪 井 1/ 2 吳成玉 <0/1> K 浅 井 2/ 9 杉 本 4/ 8 石 山 3/4 6/13 金鎮順	田 中 K <0/2> 渡 邁 0/ 0 上 町 4/14 宮 前 0/ 0 北 岡 2/ 5 小 野 澤 2/ 5 船 本 1/ 1 武 井 0/ 0 坂 口 K <1/2> 浅 井 新 田 1/ 1 山 住 1/ 2 井 上 2/ 2 若 松 0/ 0	5/ 5 下 川 1/ 1 浜 本 0/ 0 吉 田 0/ 4 小 葛 2/ 8 東 板 <0/1> K 坪 根 2/3 2/ 7 小 津 0/ 0 杉 山 K 松 村 渡 2/ 3 古 家 0/ 0 渡 辺 4/ 5 山 口 0/ 0 中 山 金 性 重 2/ 9 1/ 1 末 松 3/13	荻 田 K <0/1> 松 林 2/ 3 中 谷 0/ 0 市 原 1/ 1 板 垣 0/ 0 中 岩 0/ 0 大 田 2/ 2 日 原 K <1/1> <0/2> K 游 漢 2/ 3 古 家 0/ 0 渡 辺 4/ 5 山 口 0/ 0 中 山 木 松 3/13	高 山 0/ 0 村 上 直 3/ 6 植 木 1/ 2 村 上 秀 3/ 5 吳 相 民 5/10 3/3 永 島 佐 久 間 2/ 2 鶴 田 0/ 1 太 田 田 中 慎 9/14 阪 口 0/ 1 谷 川 K <0/2> 石 黒 0/ 2 猪 妻 松 野 K <0/3> 窪 小 谷 朴 正 鎮 0/ 2 宮 崎 吉 田 K	木 下 K 田 中 秀 0/ 0 大 宮 佐 々 木 1/ 1 米 満 迸 2/ 6 多 田 野 村 6/12 本 井 近 藤 2/ 3 作 田 北 出 2/ 3 伯 田 平 K <1/3> 岡 清 水 1/ 1 本 長 谷 川 0/ 0 延 吉 田 7/ 8 1/2 吉 林 田 K 香 田 1/ 4 2/ 2 崎 前 0/ 0	
3/4 27/56 1(FPP)3 審判(浜野・阿部羅)	19/46 1/1 観客 350人	2/3 16/33 10(FPP)22 審判(仲田・植村)	5/5 23/37 11(FPP)7 審判(金子・児玉)	23/45 3/3 観客 501人	2/3 26/45 13(FPP)9 審判(仲田・植村)	22/38 3/4 観客 350人



大阪ガス・三羽

北電が快勝、大阪ガスは初白星
2部男子は2試合が行われ、首位の北陸電力が3位につけるトヨタ自動車を28-13と寄せ付けなかった。安定したD.F力で試合を優位に進めた北陸電力は前半25分11-7からこの試合13点と大活躍の杉山を中心に4連打で抜け出すと、後半も加点ペースを緩めずに快勝、全勝を守った。トヨタは序盤こそ厚沢のカットインなどで食い下がったが、徐々にミスが目立ち始め、反撃のきっかけをつかめなかった。

豊田合成と対戦した大阪ガスは、後半15分21-20から池田、三羽、向井らで奪った7連続得点で勝利を決定づけ、うれしい今シーズン初白星をマークした。

11月27日(土) 男子2部 愛知・豊田合成(株)健康管理センター			
大阪ガス 30 (15 - 10) 1勝0分6敗	豊田合成 25 1勝0分7敗	北陸電力 28 (15 - 7) 7勝0分0敗	トヨタ 13 3勝0分4敗
K 嶋 崎 0/ 0 奥 野 2/2 5/10 三 羽 4/ 5 川 野 0/ 1 大 庭 0/ 2 鳥 平 0/ 3 浜 田 7/15 八 幡 3/ 3 向 井 0/ 0 鵜 福 9/12 池 田	原 5/14 山 越 0/ 2 面 家 0/ 0 門 野 0/ 0 1/3 桑 田 3/ 5 湯 臨 0/ 3 名 倉 K 佐 藤 9/11 半 田 3/ 6 山 田 4/ 9 佐 藤 優 K <0/2>	K 西 田 0/ 1 高 橋 2/ 8 神 田 3/ 4 落 合 2/ 8 桜 井 2/ 7 前 田 6/ 8 高 田 7/ 8 杉 山 0/ 0 北 村 0/ 0 表 観 K 安 藤 佐 藤 K <0/1>	山 本 K <2/7> 三 上 0/ 3 光 田 0/ 0 厚 沢 4/12 1/1 甲 斐 田 0/ 1 大 塚 1/ 1 坂 口 0/ 1 金 子 0/ 0 吉 永 0/ 3 倉 田 0/ 0 佐 藤 1/ 3 福 田 2/11
2/2 28/51 4(FPP)3 審判(坪井・河合)	24/50 1/3 観客 67人	6/8 22/44 5(FPP)15 審判(亀井・堀川)	12/43 1/1 観客 1200人

男子2部個人賞レース(第9週終了)

得点王

1 杉山 卓也 (HC東京)	56点	(7試合)	1 田中 将 (HC東京)	37点 / 51射 0.725
2 原 貴之 (豊田合成)	45点	(8試合)	2 木村 祐介 (HC東京)	35点 / 50射 0.700
3 厚沢 憲彦 (トヨタ自動車)	44点	(7試合)	3 高橋 準 (北陸電力)	30点 / 43射 0.698
4 三羽 信利 (大阪ガス)	43点	(7試合)	4 田中 勝弘 (トヨタ自動車)	28点 / 42射 0.667
5 佐藤 豪洋 (豊田合成)	39点	(8試合)	5 落合 信也 (北陸電力)	28点 / 44射 0.636
6 田中 将 (HC東京)	37点	(7試合)	6 杉山 卓也 (北陸電力)	33点 / 52射 0.635
7 木村 祐介 (HC東京)	35点	(7試合)	7 桜井 渉 (北陸電力)	28点 / 53射 0.528
8 八幡 幸規 (大阪ガス)	33点	(7試合)	8 厚沢 憲彦 (トヨタ自動車)	28点 / 60射 0.467
9 高橋 準 (北陸電力)	30点	(7試合)	9 三羽 信利 (大阪ガス)	33点 / 81射 0.407
9 高木 洋一 (HC東京)	30点	(7試合)	10 原 貴之 (豊田合成)	45点 / 114射 0.395

シュート率賞

1 原 貴之 (豊田合成)	45点	(8試合)	1 杉山 卓也 (北陸電力)	23点 (7試合)
2 佐藤 豪洋 (豊田合成)	39点	(8試合)	2 厚沢 憲彦 (トヨタ自動車)	16点 (7試合)
3 田中 将 (HC東京)	37点	(7試合)	3 門野 学 (豊田合成)	14点 (8試合)
4 木村 祐介 (HC東京)	35点	(7試合)	4 三羽 信利 (大阪ガス)	10点 (7試合)
5 杉山 卓也 (北陸電力)	33点	(7試合)	5 高木 洋一 (HC東京)	8点 (7試合)
5 三羽 信利 (大阪ガス)	33点	(7試合)		
7 八幡 幸規 (大阪ガス)	31点	(7試合)		
8 高橋 準 (北陸電力)	30点	(7試合)	1 山本 敏 (トヨタ自動車)	3本 / 9射 0.333
9 田中 勝弘 (トヨタ自動車)	28点	(6試合)	2 宇田川敏郎 (HC東京)	5本 / 16射 0.313
9 落合 信也 (北陸電力)	28点	(7試合)	3 嶋崎 智彦 (大阪ガス)	4本 / 17射 0.235
9 桜井 渉 (北陸電力)	28点	(7試合)	4 稲本 圭亮 (トヨタ自動車)	2本 / 9射 0.222
9 厚沢 憲彦 (トヨタ自動車)	28点	(7試合)	5 佐藤 優季 (豊田合成)	3本 / 18射 0.167

フィールド得点賞

1 原 貴之 (豊田合成)	45点	(8試合)	1 杉山 卓也 (北陸電力)	23点 (7試合)
2 佐藤 豪洋 (豊田合成)	39点	(8試合)	2 厚沢 憲彦 (トヨタ自動車)	16点 (7試合)
3 田中 将 (HC東京)	37点	(7試合)	3 門野 学 (豊田合成)	14点 (8試合)
4 木村 祐介 (HC東京)	35点	(7試合)	4 三羽 信利 (大阪ガス)	10点 (7試合)
5 杉山 卓也 (北陸電力)	33点	(7試合)	5 高木 洋一 (HC東京)	8点 (7試合)
5 三羽 信利 (大阪ガス)	33点	(7試合)		
7 八幡 幸規 (大阪ガス)	31点	(7試合)		
8 高橋 準 (北陸電力)	30点	(7試合)		
9 田中 勝弘 (トヨタ自動車)	28点	(6試合)		
9 落合 信也 (北陸電力)	28点	(7試合)		
9 桜井 渉 (北陸電力)	28点	(7試合)		
9 厚沢 憲彦 (トヨタ自動車)	28点	(7試合)		

7mスロー得点賞

1 原 貴之 (豊田合成)	45点	(8試合)	1 杉山 卓也 (北陸電力)	23点 (7試合)
2 佐藤 豪洋 (豊田合成)	39点	(8試合)	2 厚沢 憲彦 (トヨタ自動車)	16点 (7試合)
3 田中 将 (HC東京)	37点	(7試合)	3 門野 学 (豊田合成)	14点 (8試合)
4 木村 祐介 (HC東京)	35点	(7試合)	4 三羽 信利 (大阪ガス)	10点 (7試合)
5 杉山 卓也 (北陸電力)	33点	(7試合)	5 高木 洋一 (HC東京)	8点 (7試合)
5 三羽 信利 (大阪ガス)	33点	(7試合)		
7 八幡 幸規 (大阪ガス)	31点	(7試合)		
8 高橋 準 (北陸電力)	30点	(7試合)		
9 田中 勝弘 (トヨタ自動車)	28点	(6試合)		
9 落合 信也 (北陸電力)	28点	(7試合)		
9 桜井 渉 (北陸電力)	28点	(7試合)		
9 厚沢 憲彦 (トヨタ自動車)	28点	(7試合)		

7mスロー阻止賞

1 原 貴之 (豊田合成)	45点	(8試合)	1 杉山 卓也 (北陸電力)	23点 (7試合)
2 佐藤 豪洋 (豊田合成)	39点	(8試合)	2 厚沢 憲彦 (トヨタ自動車)	16点 (7試合)
3 田中 将 (HC東京)	37点	(7試合)	3 門野 学 (豊田合成)	14点 (8試合)
4 木村 祐介 (HC東京)	35点	(7試合)	4 三羽 信利 (大阪ガス)	10点 (7試合)
5 杉山 卓也 (北陸電力)	33点	(7試合)	5 高木 洋一 (HC東京)	8点 (7試合)
5 三羽 信利 (大阪ガス)	33点	(7試合)		
7 八幡 幸規 (大阪ガス)	31点	(7試合)		
8 高橋 準 (北陸電力)	30点	(7試合)		
9 田中 勝弘 (トヨタ自動車)	28点	(6試合)		
9 落合 信也 (北陸電力)	28点	(7試合)		
9 桜井 渉 (北陸電力)	28点	(7試合)		
9 厚沢 憲彦 (トヨタ自動車)	28点	(7試合)		

(7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

男女1部個人賞レース 第9週終了

《男子》 《女子》

得点王

1 譚 崇 聖 (ホンダ熊本)	93 点	(12試合)	1 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	66 点	(7試合)
2 吳 相 民 (アラコ九州)	83 点	(11試合)	2 富 田 有 美 (オムロン)	44 点	(6試合)
3 金 性 憲 (大同特殊鋼)	75 点	(11試合)	3 田 中 美 音 子 (ソニー)	36 点	(7試合)
4 豊 田 賢 治 (大崎電気)	70 点	(12試合)	4 劉 晋 淑 (オムロン)	35 点	(6試合)
5 香 川 将 之 (トヨタ車体)	68 点	(12試合)	4 中 村 尚 美 (北国銀行)	35 点	(7試合)
6 宮 崎 大 輔 (大崎電気)	64 点	(12試合)	6 郭 惠 靜 (ソニー)	32 点	(6試合)
7 岩 本 真 典 (大崎電気)	58 点	(12試合)	6 菅 谷 美 奈 (H C 名古屋)	32 点	(7試合)
7 白 元 喆 (大同特殊鋼)	58 点	(11試合)	8 小 野 澤 香 理 (北国銀行)	29 点	(7試合)
9 吉 田 聰 (トヨタ車体)	54 点	(12試合)	8 杉 本 絵 美 (メイプルレッズ)	29 点	(7試合)
9 野 村 広 明 (トヨタ車体)	54 点	(12試合)	10 青 戸 あ か ね (メイプルレッズ)	25 点	(7試合)
11 谷 口 了 (ホンダ)	50 点	(10試合)	11 大 前 典 子 (メイプルレッズ)	24 点	(7試合)
11 小 沢 勝 利 (湧永製薬)	50 点	(11試合)	11 山 田 千 尋 (ソニー)	24 点	(7試合)
13 下 川 真 良 (湧永製薬)	42 点	(11試合)	13 水 野 恵 子 (オムロン)	23 点	(6試合)
14 山 口 修 修 (湧永製薬)	41 点	(11試合)	13 北 岡 久 (北国銀行)	23 点	(7試合)
14 大 田 修 一 (大同特殊鋼)	41 点	(11試合)	13 上 町 史 織 (北国銀行)	23 点	(7試合)
14 東 慶 一 (湧永製薬)	41 点	(11試合)			
14 中 川 善 雄 (大崎電気)	41 点	(12試合)			

フィールド得点賞

1 譚 崇 聖 (ホンダ熊本)	92 点	(12試合)	1 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	46 点	(7試合)
2 吳 相 民 (アラコ九州)	64 点	(11試合)	2 田 中 美 音 子 (ソニー)	36 点	(7試合)
3 宮 崎 大 輔 (大崎電気)	61 点	(12試合)	3 劉 晋 淑 (オムロン)	35 点	(6試合)
4 香 川 将 之 (トヨタ車体)	59 点	(12試合)	4 郭 惠 靜 (ソニー)	30 点	(6試合)
5 白 元 喆 (大同特殊鋼)	58 点	(11試合)	5 小 野 澤 香 理 (北国銀行)	29 点	(7試合)
6 岩 本 真 典 (大崎電気)	56 点	(12試合)	5 杉 本 絵 美 (メイプルレッズ)	29 点	(7試合)
6 金 性 憲 (大同特殊鋼)	56 点	(11試合)	7 中 村 尚 美 (北国銀行)	27 点	(7試合)
8 野 村 広 明 (トヨタ車体)	54 点	(12試合)	8 青 戸 あ か ね (メイプルレッズ)	25 点	(7試合)
9 豊 田 賢 治 (大崎電気)	48 点	(12試合)	9 大 前 典 子 (メイプルレッズ)	24 点	(7試合)
10 吉 田 聰 (トヨタ車体)	42 点	(12試合)	10 水 野 恵 子 (オムロン)	23 点	(6試合)
10 下 川 真 良 (湧永製薬)	42 点	(11試合)	10 北 岡 久 (北国銀行)	23 点	(7試合)

シューート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 吉 田 聰 (トヨタ車体)	42点 / 63射	0.667	1 大 前 典 子 (メイプルレッズ)	24点 / 33射	0.727
2 豊 田 賢 治 (大崎電気)	48点 / 78射	0.615	2 水 野 恵 子 (オムロン)	23点 / 32射	0.719
3 下 川 真 良 (湧永製薬)	42点 / 74射	0.568	3 田 中 美 音 子 (ソニー)	36点 / 56射	0.643
4 岩 本 真 典 (大崎電気)	56点 / 101射	0.554	4 青 戸 あ か ね (メイプルレッズ)	25点 / 39射	0.641
5 譚 崇 聖 (ホンダ熊本)	92点 / 168射	0.548	5 劉 晋 淑 (オムロン)	35点 / 59射	0.593
6 白 元 喆 (大同特殊鋼)	58点 / 111射	0.523	6 小 野 澤 香 理 (北国銀行)	29点 / 50射	0.580
7 香 川 将 之 (トヨタ車体)	59点 / 115射	0.513	7 北 岡 久 (北国銀行)	23点 / 40射	0.575
8 吳 相 民 (アラコ九州)	64点 / 134射	0.478	8 杉 本 絵 美 (メイプルレッズ)	29点 / 52射	0.558
9 宮 崎 大 輔 (大崎電気)	61点 / 130射	0.469	9 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	46点 / 83射	0.554
10 金 性 憲 (大同特殊鋼)	56点 / 123射	0.455	10 郭 惠 靜 (ソニー)	30点 / 63射	0.476

7mスロー得点賞

1 豊 田 賢 治 (大崎電気)	22 点	(12試合)	1 富 田 有 美 (オムロン)	26 点	(6試合)
2 金 性 憲 (大同特殊鋼)	19 点	(11試合)	2 山 田 千 尋 (ソニー)	20 点	(7試合)
2 吳 相 民 (アラコ九州)	19 点	(11試合)	2 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	20 点	(7試合)
4 小 沢 勝 利 (湧永製薬)	14 点	(11試合)	4 菅 谷 美 奈 (H C 名古屋)	11 点	(7試合)
5 吉 田 聰 (トヨタ車体)	12 点	(12試合)	5 中 村 尚 美 (北国銀行)	8 点	(7試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のG Kが対象)

1 坪 根 敏 宏 (湧永製薬)	6本 / 14射	0.429	1 田 代 ひ ろ み (北国銀行)	8本 / 19射	0.421
2 田 平 龍 太 郎 (トヨタ車体)	14本 / 38射	0.368	2 田 中 麻 美 (北国銀行)	4本 / 13射	0.308
3 濱 口 靖 (大崎電気)	3本 / 12射	0.250	3 飛 田 季 実 子 (ソニー)	5本 / 19射	0.263
4 松 岡 厚 志 (ホンダ熊本)	4本 / 17射	0.235	4 浅 井 友 可 里 (メイプルレッズ)	4本 / 19射	0.211
5 石 原 秀 久 (大崎電気)	4本 / 18射	0.222	5 勝 田 祥 子 (オムロン)	3本 / 20射	0.150

第29回日本ハンドボールリーグ成績表

第9週終了現在 11月28日

順位	1部男子	大崎電気	大同特殊鋼	トヨタ車体	湧永製薬	ホンダ	ホンダ熊本	アラコ九州	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気		30 26	29 28	25 19	26 30	28 29	32 28	12	9	1	2	19	330	303	27
2	大同特殊鋼	20 24		37 27	26 18	27	27 31	28 36	11	6	2	3	14	301	277	24
3	トヨタ車体	19 27	21 30		23 25	19 23	29 25	29 24	12	5	2	5	12	294	308	-14
4	湧永製薬	24 26	20 18	23 21		15 25	28 27	29	11	4	2	5	10	256	248	8
5	ホンダ	26 22	26	26 23	19 21		23 21	27 25	11	4	2	5	10	259	255	4
6	ホンダ熊本	26 34	23 27	25 28	30 22	18 25		21 28	12	4	0	8	8	307	319	-12
7	アラコ九州	29 26	28 28	21 20	20	29 18	22 29		11	3	1	7	7	270	307	-37

順位	1部女子	メイブルレッスン	オムロン	北国銀行	ソニー	H C 名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	広島メイブルレッスン		28	30 30	33 34	35 29	7	6	0	1	12	219	176	43
2	オムロン	23		29	30 30	31 26	6	5	0	1	10	169	131	38
3	北国銀行	22 20	19		25 23	21 25	7	3	0	4	6	155	170	-15
4	ソニーセミコンダクタ九州	35 24	22 24	20 25		25	7	3	0	4	6	175	198	-23
5	H C 名古屋	29 23	16 22	20 16	23		7	0	0	7	0	149	192	-43

順位	2部男子	北陸電力	H C 東京	トヨタ自動車	大阪ガス	豊田合成	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北陸電力		29	33 28	33 29	36 35	7	7	0	0	14	223	133	90
2	H C 東京	26		26 20	39 32	37 25	7	6	0	1	12	205	119	86
3	トヨタ自動車	17 13	10 15		29	29 38	7	3	0	4	6	151	174	-23
4	大阪ガス	19 17	13 17	23		26 30	7	1	0	6	2	145	217	-72
5	豊田合成	23 18	13 22	20 24	30 25		8	1	0	7	2	175	256	-81

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。